日本アドラー心理学会のご案内

JSAP

～ 大切なのは何が与えられているかではなく、
与えられたものをどう使うかである ～

日本アドラー心理学会は、1984年に、アドラー心理学の研究と啓発を目的に設立されました。
本学会は、国際アドラー心理学会連合（International Association of Individual Psychology）公認団体です。

一般社団法人
日本アドラー心理学会

日本アドラー心理学会の概要

日本アドラー心理学会は、1984年にアドラー心理学の研究と啓発を目的に作られた団体です。国際アドラー心理学会連合(*International Association of Individual Psychology*)の日本で唯一の公認団体です。

本学会では専門家・非専門家の区別なく医療、福祉、教育、家庭、企業など様々な現場領域で活躍中の会員がともにアドラー心理学を学んでいます。

団体名：一般社団法人　日本アドラー心理学会

設立：1984年　会員数：約1,000名
会長：樋澤律子 (財務・経理担当)
理事：岡山恵実 (広報・渉外担当)
角陸正英 (総務・地方区担当)
尾中孝司 (学術・教育担当)

年に1度、学術総会を開催しています。勇気づけの雰囲気が溢れる中で、理論と技法、思想を現場や実践と結びつけて学ぶことができます。

近年の開催地：2018年石川 → 2019年千葉 → 2020年大阪 → 2021年香川 → 2022年愛知
《 2022年の愛知学術総会プログラムより抜粋 》
・シンポジウム『2022これからの子育て学習プログラム』
・講演『日本のアドレリアンのみなさまへのメッセージ：
新たな世界、古くからある挑戦（課題）、そしてアドラー心理学による時を超えた解決策』
講師 国際個人心理学会会長 マリーナ・ブルフシュテイン博士
・シンポジウム『アドラーで世界を歩く・世界とつながる：歩いてみて気づいたこと分かったこと』
・特別シンポジウム『護道から共同体感覚を学ぶ～ギリギリの状況下での共同体感覚を考える』

地方会

各地方区では、メンバーの交流や学習、懇親を目的に、地方会が開催されています。 地方会は地方区ごとに主体的に運営されており、日頃の各自助グループの学びの成果を 分かち合うなど、それぞれの地方区のアイデアを活かした楽しい会になっています。 学会員になれば、どなたでも参加できます。

全国の地方区:

北海道　東北　関東　甲信越　北陸・東海　近畿　中国　四国　九州・沖縄

過去の地方会のテーマ:

・「ぶっとい根っこ」（北海道）
・「東北のアドレリアンと出会い、つながる」（東北）
・「私が選ぶ物語」（関東）
・「目先を変えてみました」（甲信越）
・「勇気づけってなんだろう？」（北陸・東海）
・「シンデレラと王子は幸せになったか？」（近畿）
・「今こそアドラー愛を語ろう!!」（中国）
・「四国だよっ、中央に集合ー!!」（四国）
・「アドラー心理学でつながり続ける」（九州・沖縄）

海外のネットワーク

日本アドラー心理学会は国際アドラー心理学会連合の日本で唯一の公認団体として、 演題の発表、最新の研究成果などの情報交換をしています。 また、ICASSI（アドラー・ドライカースサマーセミナー）には日本からも多くの会員が参加し、海外の アドレリアンと積極的に学び合っています。

・日本アドラー心理学会：*Japanese Society of Adlerian Psychology*
・国際アドラー心理学会連合：*International Association of Individual Psychology*
・ICASSI：*International Committee of Adlerian Summer Schools and Institutes*
リエゾンオフィサー（国際アドラー心理学連合）：中島弘徳

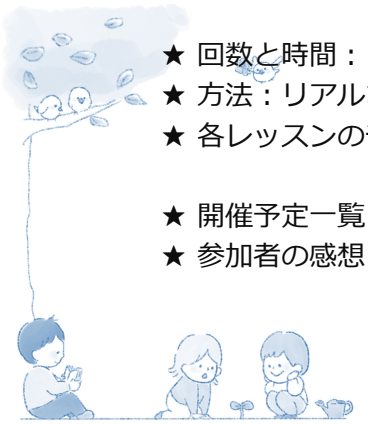
全国の自助グループ

日本アドラー心理学会と連携しながら、アドラー心理学をなかまと相互に学び合う自助グループが全国にあります。自助グループは、メンバーの知識や実践経験を分かち合いながら、日々の暮らしの諸問題（ライフタスク）を解決していく治療共同体です。

活動内容は、子育ての相談や勉強会、輪読会、ライフスタイル分析の練習会などさまざまですがメンバーが相互に学び合い、高め合うスタイルで運営されています。

子育て学習プログラム

EOLECT（エオレクト）は、アドラー心理学に基づく子育て学習プログラムです。少人数（４－６人）のグループで親子がともに共同体感覚を育む暮らしを学びます。子育てを基本とし、他の家族など身近な人との関係にも応用することができます。



★ 回数と時間：６レッスンで各レッスンは 2時間程度
★ 方法：リアルまたはオンライン
★ 各レッスンのテーマ：①勇気づける　②よく観察する　③耳を傾けて聴く　④体験を見届ける　⑤話し合う　⑥ともに成長する
★ 開催予定一覧：https://www.japan-adler-lecture.org/eolect
★ 参加者の感想：「あたたかくて遊び心がある」「共同体感覚の育成は身近なことだった」「なかまとできるおとに気づくことで相手を愛おしく思い、自分が満たされていると感じた」「自分の中に『ある』ものから始める」「子育て世代から始めて、あらゆる世代に、世界中に広げたい」

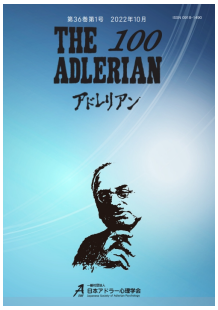
機関誌『アドレリアン』

年３回発行の機関誌『アドレリアン』が会員に配布されます。
アドラー心理学の理論や実践報告，海外論文の翻訳などを掲載しています。

近年の『アドレリアン』の掲載記事：

- 論文　アドラー心理学から見た大学等における合理的配慮とその支援
- 論文　ヴィゴツキーとアドラー
- 論文　エピソード分析と治療共同体
- 実践報告　自閉症と診断されたS君（5歳）を受け入れて
- 実践報告　荒れのきざしのみられる学級集団との1年間～「クラスはよみがえる」を基本としたクラス経営
- 実践報告　『わが家の家族会議』からみえてきたこと　“なんだ！こういうことだったのか！！”
- 翻訳論文　アドラー派サイコセラピーとスーパービジョンにおける早期回想

※ホームページから総目次をご覧いただけます。



学会認定資格

日本アドラー心理学会には、次の認定資格があります。

《 **家族コンサルタント** 》家族間でトラブルが起こった場合、アドラー心理学が考えるよりよい家族の在り方を提案し、家族間の調整や支援をするための資格です。また、アドラー心理学に基づく育児学習プログラム『EOLECT(エオレクト)』をファシリテーターとして開催できる資格です。EOLECT(エオレクト)を受講し、地域のグループなどで活動経験を積んだ後、家族コンサルタント養成講座に参加し試験を受けて資格取得となります。

《 **カウンセラー** 》人々の暮らしの諸問題を解決できるよう、援助するための資格です。原則として援助専門職の方を対象としています。カウンセラー養成講座を受講し、試験に合格すれば取得できます。養成講座受講の条件は、基礎講座理論編・応用編を受講して日常生活でも理論や思想を意識して実践し、かつ自助グループ等で他の人の援助をする経験をもっていることです。

《 心理療法士 》単に日常生活上の問題を解決するだけでなく、生き方そのものを再点検するための援助を心理療法と呼んでいます。カウンセラーの資格をもち、指導者によるスーパーヴィジョンと実技試験を受けることで取得できます。

《 **認定指導者** 》上記三種の資格認定などの仕事をします。

アドラー心理学の学び方

学会が主催(後援の場合も)する講演会や講座、学習会は各地で開催されています。なかにはオンラインで開催されるものもあります。はじめての方には、まず基礎講座やEOLECT(エオレクト)の受講をおすすめいたします。

開催予定は、以下のホームページをご覧ください。

・日本アドラー心理学会主催講座 ： *https://www.japan-adle*
・育児プログラムEOLECT ： *https://www.japan-adler-lecture.org/eolect*
・各地の講座情報 ：学会のホームページ内リンク(*http://adler.cside.ne.jp/link/index.htm*)

会員になると

・機関誌『アドレリアン』が年3回無料配布されます。
・日本アドラー心理学会総会や地方会への参加資格が得られます。
・学会ホームページの会員専用サイトの閲覧が可能となり、学会ニュースを受け取ることができます。
・学会主催講座の会員割引や会員限定講座の受講が可能です。

《 入会案内 》

年会費：7,000円
入会申込書はホームページ（*http://adler.cside.ne.jp*）からダウンロードできます。

＜お問い合わせ：日本アドラー心理学会事務局＞

〒532-0011　大阪市淀川区西中島3-8-14-502
日本アドラー心理学会（事務局）
TEL:06-6306-4699　FAX：06-6306-0160　Mail：*lem02115@nifty.com*